

東洋精器工業の新商品

ウェイトセッターぺた2



東洋精器工業はこのほど、ホイールバランス作業時のウェイト貼り付けを簡単、正確に行えるアイデア商品「ウェイトセッター ペタ2」(ぺたぺた) (パテント出願中) の販売を開始した。磁石の作用でウェイトをがっちり固定することにより、鉄製ウェイトの特に下方貼り作業につきまとうウェイトの垂れ下りを防止し、作業ストレスを軽減するとともに、時間短縮、作業者を選ばない均一的な作業を実現する。(木本)

新商品の説明に当たっては、同社販売企画部技術部長兼横浜支店長の青木茂雄氏。まず、開発の経緯から聞いた。

「以前は、ウェイトは鉛製が多く利用されていましたが、環境意識の高まりによって、現在の主流は鉄製ウェイトに移っております。しかし、この2種類はウェイトには扱いやすさという点で大きな差があります。鉛ウェイトには自立性があり、ハサミで好きなところを切って使えますので切ったただ貼るだけで作業が簡単でした。しかし鉄ウェイト

は鉛と違って好きなどころで切るというわけにいきません。5グラムの刻みで最初から切れた状態で真に両面テープを張っている状態なので、最初からぺらぺらした状態になりません。

「私もお客様とどこを訪問させて頂いてウェイト貼りの作業を見ていたのですが、実際にやってみると、そうして作業される、これを何とか解決できないかという思いがあったんですよ」とのこと。確かに鉛ウェイトはまさに伸び、形状も安定しているが、鉄ウェイトは持つとだらりと垂れ下がってしまう。

簡単にウェイト貼り付け

磁石の威力でスムーズ作業

そこで新商品の登場である。長さは10センチ弱ぐらいか。下側に磁石が仕込んであり、これでウェイトを接着するのだという。青木部長にウェイトを貼る

は鉛と違って好きなどころで切るというわけにいきません。5グラムの刻みで最初から切れた状態で真に両面テープを張っている状態なので、最初からぺらぺらした状態になりません。



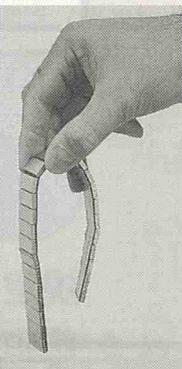
「この「ウェイトセッター ペタ2」は磁石でぱっとくっつけて貼るだけですから、作業に付き物のイライラを無くし、作業ストレス

分余計にウェイトを消費するので余分な経費が掛かりますし、作業時間もかかるし、バランスの消耗にもつながります。これまでウェイト貼りの作業はそうした二度手間と言いますか、作業をやり直すことが散見されておりました。それを解消するのが「ウェイトセッター ペタ2」です」

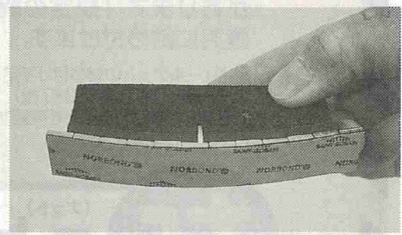
早速、実際にバランス計を使って作業を見せたい。使用したホイールバランスはホフマン社製「BP7300P」。

「バランス測定の結果、イン側に50グラムのウェイト貼り付けの指示が出た。すると青木部長は「ぺた2」の中心線に合わせてウェイトを取り付ける。ちょうど中心線から25グラムずつ両側に伸びた格好である。

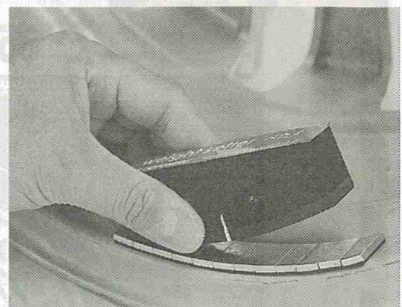
次に記者も同じように作業してみた。磁石の吸着力が強いため、



鉄ウェイトは扱いにくい



磁力でウェイトが安定



ストレスなく接着完了

ランサーはレーサーボインターの位置が下方の5時方向を示している。「せ」かく機械の利便性が良くなりまして、肝心のウェイトがぺらぺらしていたのでは、正確な貼り付け作業は行えません。バランス計は作業しやすさというレーサーボインでこですと教え

すけれども、実際に貼る方の作業にはらつきがでしてしまいがちなので、

「弊社以外のバランス計にも使用でき、貼り付け指定位置がどこであっても同じような効果を得ることが可能です。これこそ、そうしたユーザー様にも広く販売していく計画です。真上に貼る場合ですが、ホイールを横から見ると真上と言ったのが意外に合わせにくくて円周方向の手前側に貼ってしまったり、奥側に貼ってしまいがちです。イン側は比較的真ん中に近いところで貼れますが、アウト側はかがみこんでのぞき込むような形で

「ウェイトセッター ペタ2」は面側なウェイト貼りの作業のストレスを解消する、

「ウェイトセッター ペタ2」。面側なウェイト貼りの作業のストレスを解消する、

「ウェイトセッター ペタ2」。面側なウェイト貼りの作業のストレスを解消する、